

水産物の市況について(令和7年3月及び令和7年4月)

—東京都中央卸売市場における令和7年3月(令和7年2月21日～令和7年3月20日集計)の市況と、
令和7年4月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から減少で推移し、前年同月比でも減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

II 令和7年4月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

常磐沖ではまとまった漁獲がみられるものの、鮮魚サイズの水揚げは少ないとみられる。一方で、山陰沖や富山湾の漁獲は好調に推移すると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

産地の水揚げは低調に推移するとみられ、東京への入荷量はやや減少するものの、産卵の盛期に入り、身質が低下することから、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

今後も全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も産地の水揚げは低調に推移すると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

産地の水揚げ量が増加すると予想され、東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	3月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	21	1,578	25	1,611	26	1,874
前年	25	1,490	26	1,502	27	1,782

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	3月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	450	105	111	124
さけ類(平均)	1,431	99	123	143
(ぎんざけ塩蔵品)	1,406	99	119	139
(あきさけ塩蔵品)	1,507	124	184	216
(べにざけ塩蔵品)	1,495	69	113	110
(さけ類冷凍品)	1,515	105	132	154
さば(生鮮品)	587	89	100	137
するめいか(平均)	1,564	95	101	160
(生鮮品)	1,467	92	100	152
(冷凍品)	1,710	100	93	158
あじ(生鮮品)	921	117	142	153
まぐろ(冷凍品)	1,665	109	102	105
(めばち冷凍品)	1,085	98	93	97
(きはだ冷凍品)	819	88	86	75
(くろまぐろ冷凍品)	3,697	108	120	114
(みなみまぐろ冷凍品)	1,980	100	103	98
かつお(生鮮品)	1,352	98	134	181

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:3月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613